

日々の中で、なるべく感じたくないけど、時々感じてしまう感情の一つに「嫌な予感」というものがあります。それは第六感的なものだったり、何かしらの経験則から自然と導き出して生きているわけですが、僕の中で「この台詞を言われたらやばい」というものがあります。それは大変申し訳無いのですが、70代前後くらいの男性が言う「これぞまさしく」と「〇〇なだけに」です。もうこれらの言葉を聞くだけで、ビクッとする人もいるかもしれませんが、そうです、この二つのいずれかをおっちゃんが少し声を張り気味に言ったら、ほぼ100%の確率でダジャレを言います。

その人が気心の知れた仲だったら良いんだけど、時々ほぼ初対面なのにいきなり放り込んでくるおっちゃんとかもいて、なんとなく（たぶん、ちょっと強く言っても大丈夫だろう）と思える人だったら、「えーと、なにがですか？」と気づいていないフリをしたり、もしくは「え？何て言ったんですか？」と何度か聞き返して、リズムを壊すといった対処をすることだってあります。そんなおっちゃん達の台詞とは別に、女性、というかですね、うちのオカンに限った嫌な予感なんです、季節の変わり目とかに「風邪が流行っています」といったニュースが流れた時、僕は嫌な予感がするのです。大体、風邪の話題になると、うちのオカンは毎年毎年、決まってこう言うんです。「今年の風邪はしつこい」と。

それを毎年言っているんだけど、なんだか「おかん、それ毎年言ってるよ」と言うのも野暮なので（野暮なのか？）、僕は黙って頷く、というのを親孝行だと思って実行しているわけでございます。

そして、とっても私事なんです、旭川に居る親父は9月で79歳になります。なんだか信じられないんですが、実際にそうだから驚いています。

元々、前述の「これぞまさしく」や「〇〇なだけに」という言葉に嫌な予感がするのは、親父のせいにして、とにかくまあダジャレばかり言ってる人です。

僕が結婚して、奥さんを初めて実家に連れて行ったときも、オカンに「余計なこと言わないように」と言われていたんでしょう、最初はずっとまともな父親の顔をしていたんですが、途中でもう我慢ができなくなったらしく「あれ？あそこに生えてる木から、随分葉が落ちてる。何枚くらい葉が落ちてるのかなあ？」と急に言い出し、奥さんが「え…え」と困った顔を見せた瞬間、「あ、たぶん64枚だ！これぞまさしく、葉っぱ64ってか！な～んつって！」とそれはそれは低レベルなことを言い出したので、そっと奥さんの顔を見たら、眉間に皺を寄せて梅干しでも食べたみたいな顔をしていたから、僕は申し訳無く思いながら、（結婚にスパイした、って思ってるのかな。梅干しなだけに！）と親子二代でしようもないことを考えていたのです。

今月の「集中力男」



さてさて、次はどんな商品を作ろうかなと考えていたんですが、せっかく農家さんと仕事をさせて頂いているので、次は柴田町のお米を使った日本酒と酢を作ろうと思って動き始めています。

まだいくつかの会社さんにお声掛けをさせて頂いた段階なので、どうなるのかは全くわかりませんが、もしも作っても良いよという企業さんに出会えたら、今年の秋に収穫するお米で新商品を作れたらなと思っています。

日本酒の名前は何にしようかなとか、ボトルは何色にしようかなと色々考えていたら、結局ゼロからのスタートなのでとてもポップでとにかく目立つものにするのか、もしくはシンプルで逆に目を引くようなものにするのかなどなど、考えているだけで楽しくなります。

それを作る為の資金集めも必要になってくるので、正式にプロジェクトを進められることになれば、クラウドファンディングなどで先行販売もしていきたいなと思っています。もしもそれが実現出来るところまで進みましたら、お力添えを頂けたら幸いです。

同僚のおふたり



空き家対策の林くん 0224-54-2111 まちづくり政策課

リンリンとKJと3人で、我が家で新年会と忘年会をやりました。リンリンが僕の9歳下だということがわかり「え、10歳下じゃないんだ？じゃあ同世代じゃん」と言ったら、凄い嫌な顔をされたよ。悲しいよね。



芸人のゆずさん

ゆずが使っている名刺を僕は前から変えたら良いのになあと思っていたんだけど、なんだかんだで名刺のデザインをすることになりました。「とにかく名刺はインパクト」だと思っているので、ゆずの新しい名刺、楽しみにして下さい。

ゆずさんの
SNS 達



僕の仕事は、オンラインストアの運営やら、写真や動画の撮影、デザイン、商品開発。後は時々イベントなどをやっているんですが、それはとても飽きっぽい人間なので、いろんなことを自分の仕事にしています。

こうしてパソコンで文章を書きながら、時々「あ」とか言って本をぱらぱらとめくり、育てているハーブをじっと見つめて、また文章を書き、洗濯をして風呂に入り、風呂を出てから夕ご飯の仕込みをして、またパソコンの前に戻って文章を書く、という本当にきれぎれの集中力の中で生きています。

そんな暮らしの中で、これは良いなと思うようになったのは「煮込み料理」でして、圧力鍋を使ってほろほろ肉のカレーやらシチューやら、大根と手羽元の煮物、ロールキャベツなんかを時間を測りながら作っていると、いろんな仕事がスムーズに進むような気がしています。

もしも旦那さんが料理好きとか、ちょっと興味がありそうだなと思ったら、圧力鍋をプレゼントしてみてください。ハマる人はどっぷりハマると思いますので。



- 編集後記 -

ほぼ毎日散歩に出かけているんですが、結構いろんな家の前に、灯油を入れるポリタンクが置いてあって、これは一体何なんだろうと思っていました。結果、灯油を入れてもらう為、ということがわかったんですが、北海道では灯油の配達は最低200リットルからというのが基本になっているので、ポリタンクに配達してくれるとか凄いなど、文化の違いを感じたのでした。

トリノネの Instagram → [id : torinone.store](https://www.instagram.com/torinone.store)

トリノネ新聞の設置場所一覧（敬称略）

柴田町役場2階、仙台銀行船岡支店、アウトドアズマン、柴田町の4つの郵便局、ナルミキッチンラボ

発行者：柴田町地域おこし協力隊 山田和史

ご感想やご依頼などは ⇒ info@torinone.com へ

オンラインストア ⇒ <https://www.torinone.com>